

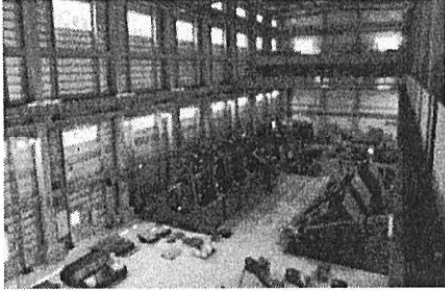
◆東部重工業の「佐世保工場」が竣工  
生産拠点を東西に確保、即納強化へ

グラブバケット・メーカーの東部重工業（本社・千葉県浦安市北栄、吉田牧男社長）は、一部稼動に入っていた「佐世保工場」（佐世保市千尽町）の建設工事がすべて完了、このほど落成式を行った。

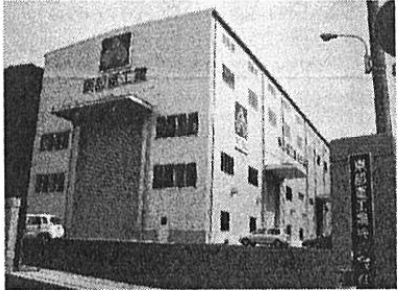
新設の佐世保工場は開発や製作設計のほか実証試験も行える最新鋭工場で、敷地面積は三、四一四㎡、工場延床面積は一、六一四㎡。生産品目は船舶用装備グラブバケットのほか、陸上荷役機械用や港湾荷役用グラブバケット、各種トラック積みホッパー、倉庫・鉄鋼センター用荷役機械となっている。

ターサービスの強化を狙う。  
なお、同社は現在、本社工場から程近い千葉県浦安市千鳥の鉄鋼団地内にも新工場「浦安工場」（敷地約五、三五二㎡、延床約一、六八三㎡、地上五階／地下テストピット一階）を建設中で、今夏にも完成する見通し。

今後は、新設の佐世保工場を西日本地区向けの生産拠点とする方針。一方で、本社工場は東日本地区向けの拠点として棲み分けを行う。同社は、すでに



工場内の風景



東部重工業「佐世保工場」

は、すでにスタンダード製品化（つくり置き生産品）による即納体制を実践しているが、今回の生産工場の棲み分け実施により、更なる納期短縮とアフ